

あまがすき



エコ

通信

Vol.166
2023年
9月号

エコカーで
ゆっくり走ろう
尼の道(永遠の34歳)
六甲川
地産地消で
水活かす(ロクスイ)

エコ川柳



エコあまスポット⑤

100年かけて森をつくる 尼崎の森中央緑地

尼崎の森中央緑地では、100年かけて、住民ひとりひとりの参画により「生物多様性の森」を作ろうという一大プロジェクトに挑戦中です。



左の写真は18年前、野原だったところが、現在では右の写真のように立派な「森」になりつつあります

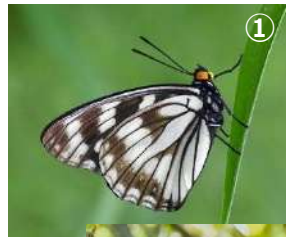


↑木の赤ちゃんの植え替え。

六甲山系や北摂山地から木の実(どんぐりなど)を採集して、苗を育て、植林します。↓



パークセンター → 環境学習や森の体験プログラムを開催。



森ができることにより、さまざまな生き物が集まっています。

- ①ゴマダラチョウ
- ②サンコウチョウ
- ③ホンドギツネ



↑「かめさん広場」では準絶滅危惧種の二ホンイシガメを育てています。パークセンターの水槽には昨年生まれた子ガメもいます。

お問い合わせ先：
尼崎の森中央緑地パークセンター
〒660-0096 尼崎市扇町 33-4
TEL 06-6412-1900

エコあま君
○尼子驛兵衛&尼崎JC&あまがさきエコクラブ



竹の水鉄砲で打ち水7℃ 気温が下がった！

毎年夏恒例の「打ち水大作戦 in あまがさき」=主催：あまがさき環境オープンカレッジ実行委員会、尼崎市=が猛暑の中、市内6地区で行われました。7月31日、大庄北生涯学習プラザの活動には、エコあま協力隊6人が応援参加。親子連れの小学生20人と、竹の水鉄砲作りに汗を流しました。

大庄北生涯学習プラザの活動に協力隊6人参加

まず、水鉄砲の竹筒(長さ20㍍×直径5㍍)に水を押し出すピストン棒(長さ30㍍×4㍍)の頭5㍍に布切れを数枚巻き、ヒモできつく縛る…この出来不出来で水の飛距離が決まるので、何度もやり直しをする子も…。協力隊員は、水鉄砲の見本を持ち、アドバイスして回ります。



用意はいいか、みんなで打ち水だ

何事も試行錯誤の末、最後にはみんな納得のいく水鉄砲を作ることができました。その後の温暖化クイズの景品は、協力隊ちゃんとさん作成のドングリごま。手際よく回す子どもたちの姿に思わず拍手も。

いよいよ、同プラザの駐車場で打ち水大作戦です。みんな水鉄砲を使って、地面にバケツの雨水を一齐掃射しました。直後の温度調べで「7℃ダウン」と発表されると、あちこちで「やった！」の歓声があがって、楽しい1日でした。(キヨ)



まず水鉄砲作りを頑張る

楽しい エコあま協力隊